

学校だより

在マレーシア日本国大使館附属・
クアラルンプール日本人会日本人学校
平成29年度 第8号(3月16日発行)
URL : <http://www.jskl.edu.my>

飛 翔

校 長 宮谷 真一郎

先日3月1日には中学部24名、そして、昨日3月10日には幼稚部58名、小学部74名が、無事、巣立ちました。

幼稚部の年長さん、ご卒園おめでとうございます。朝のバスペイで、お昼ご飯を買うために歩いていたアセアンストリートで、一人ひとりが交わしてくれた挨拶は何ものにも代えがたく、毎回心洗われる思いでした。忙しくて寝不足の朝も、昼食が2時を過ぎそうなときも、皆さんのきらきらと輝く笑顔に、大きな声に元気をいただきました。小学部への入学を楽しみに待っています。

小学部6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとの思い出は様々にありますが、なかでも最も印象に残っているのは、フレーザーズヒルで過ごした時間です。生まれて初めて見たタランチュラの巣の美しさに驚き、空いっぱい広がる星の絨毯に感動する皆さんの姿は、知識や経験で全てを押し量ろうとしていた私にはとても新鮮で、生きる上で大切なものを改めて教えてもらった気がします。

中学部3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。激動の3年間でしたね。人生の中で、これほどまでに様々な経験ができる3年間はないと言っても過言ではないのが中学校生活です。まして、開校50周年、日馬外交関係樹立60周年の中で育まれた長く、豊かな本校の伝統を振り返り、新たな息吹を吹き込む役目は並大抵では果たせません。その任の重さをしっかりと受け止めながら、されど輝き続け、後輩に道を示した姿は、まさに私たちにとっても記録以上に記憶に残る皆さんでした。

それぞれの学部でのそれぞれの旅立ちにお祝いの言葉を贈りたいと思います。そして、この大きな地球で、たくさんの人と暮らす中で、皆さんと出会えた奇跡に感動し、生きるために必要な多くの勇気を与えてくれたことに改めて感謝します。

在園、在校生、そして、これから学友になろうとしている皆さん。JSKLは本当に素敵な学校ですよ。こんなに魅力的な仲間が集い、懸命に生きる学校です。平成30年度も仲間や先生方と共に思いっきり学び、とことん運動し、たおやかな生き方の基礎を身につけてください。そして、グローバル社会を牽引することのできる人として育てていってください。

そんな皆さんに、伝えたいことがあります。今、書いた「育つ」というのは、「育てる」人やものがあるからできるのだということです。別の言い方をすると、「育む(はぐくむ)」から「育つ」のです。

「育む」は「は・ぐくむ(くくむ)」と読むことで元々の意味が想像しやすくなります。それは「親鳥が、自らの羽でひな鳥をくるみ、守る姿」です。皆さんは、親にはぐくまれているから、育てているのです。このことを決して忘れないでください。

さて、「はぐくまれている」皆さん。皆さんはこれから何をするとよいのでしょうか。それは、これからも一日一日を一生懸命に生き、たくさん見て、聞いて、触れてください。感じ、考えてください。そして、いつか必ず来る巣立ちの日に備えてください。親鳥の下を自力で離れるときに備えてください。勇気と自信と実力を身につけ、大空に向かって「羽ばたく(羽をはたくように、激しく、強く動かす)」ことができれば素敵です。

最後に、今、難しいなとか、大変だなと思った人に一言。「大丈夫ですよ。今年一年で貴方も随分立派になりました。不安はあるでしょうが、焦らず、一つ一つ丁寧に取り組んでください。貴方なら大丈夫ですよ。」